



# メールマガジン：自然をおそれず、あなどらず



発行：県教育庁保健体育課・沖縄気象台

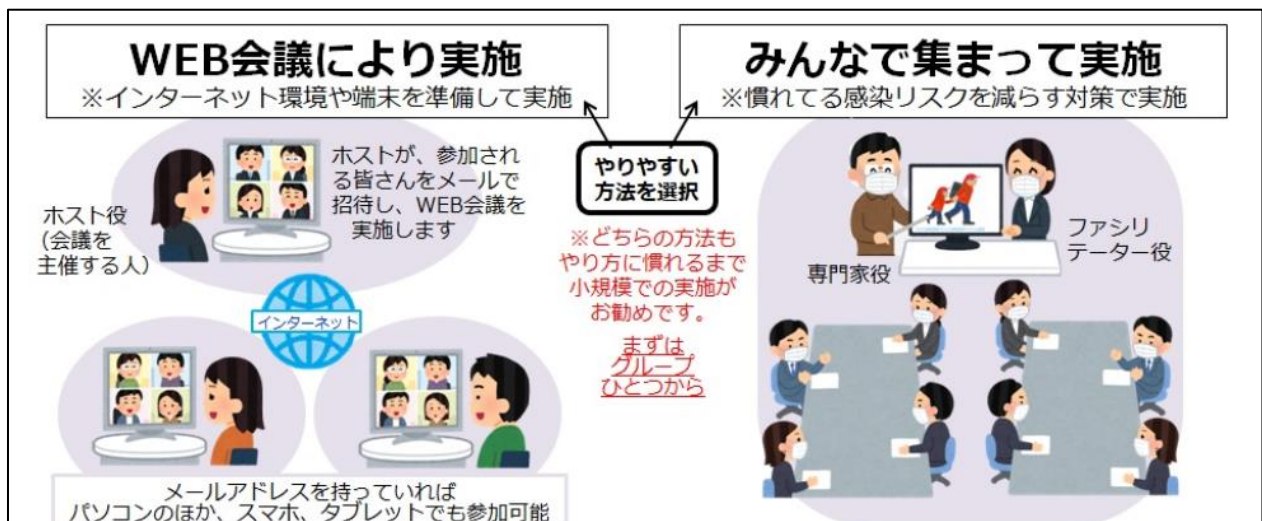
## 「気象庁ワークショップ」を授業で活用してみませんか？ ～「自らの命は自らが守る」基本の知識を学ぶ～

「災害列島」と言われる我が国ですが、毎年のように台風や大雨、地震・津波・火山災害などが発生しています。近年の自然災害を受けて国の中央防災会議では、避難に対する基本姿勢として「住民は自らの命は自らが守る意識を持つ」という社会を目指しています、その実現のための戦略として、災害リスクのある全ての学校における避難訓練や防災教育の実施が大きな柱となっています。

自然災害には様々なものがあります。中でも大雨による災害は、地形や住環境、家族構成などの状況により、あなたの命、あなたの大切な人の命を守る行動は異なります。このため、日頃から、住居や普段よく立ち寄る場所にどのような危険が潜んでいるか、避難する場所、避難ルートなどを確認しておくことが大切です。

大雨による災害が予想される時には、市町村から発令される「高齢者等避難」（レベル3）、「避難指示」（レベル4）の避難情報で確実に避難することが重要です。しかし、外の状況は刻々と変わっていきますので、市町村から「避難情報」が発令されていなくても、地元気象台等が発表する防災気象情報などを参考に、自らの判断で、早めに命を守る行動をとることも重要となってきます。

気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 その時どうする？」は、災害対策基本法改正（令和3年5月公布・施行）に対応した内閣府の「避難情報に関するガイドライン」を基本とし、地元気象台等から発表される防災気象情報に基づく避難行動（警戒レベル）を約1時間で疑似体験するものです。eラーニング「大雨の時にどう逃げる」と併せて、学校における防災教育を実施する際の安全知識の普及啓発、防災意識の向上のために是非ともご活用下さい。



気象庁 HP 気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 その時どうする？」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-ws/index.html>

気象庁 HP eラーニング「大雨の時にどう逃げる」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>

【参考】沖縄気象台HP 防災教育支援ポータルサイト

[https://www.data.jma.go.jp/okinawa/katsuyou/bosai\\_shien/top.html](https://www.data.jma.go.jp/okinawa/katsuyou/bosai_shien/top.html)

# 宮古島市立下地小学校で「リモート防災教室」を実施

## ～雲と天気の変化、台風のおはなし～

宮古島地方気象台は、宮古島市立下地小学校からの依頼を受け、令和3年7月9日（金）に5年生児童34名を対象とした防災教室をリモートにより実施しました。5年生が1学期に学ぶ理科の「天気」の単元で、「雲と天気の変化」をテーマに「雲のでき方」「雲の種類」「雲の様子と天気の変化」についてゲストティーチャーとして説明し、また、台風的一生や暴風・高潮が発生する仕組みについて、令和元年に宮古島に接近した台風第13号の気象衛星ひまわりの画像やレーダー画像、過去の被害写真等を多数用いて専門家の視点で解説しました。さらに気象台が発表する台風情報、注意報・警報、気象情報を活用して、早めに台風対策を行なうことの大切さを学んでもらいました。

この防災教室は、昨年度は対面で実施しましたが、今年は新型コロナの緊急事態宣言下ということでオンラインによる実施となりました。「リモート防災教室」は、宮古島地方気象台として初めての試みで不安もありましたが、イラストや写真、ポンチ絵、動画や映像、問いかけを交えたクイズを盛り込んだことで子供たちは最後まで目を輝かせて聞き入ってくれました。講話終了後の質問タイムでは、多くの児童が元気よく手を挙げましたが、時間の関係で3名から質問を受けました。

**Q：台風のだいたいの大きさはどれくらいですか？**

A：1977年～2020年の台風の大きさ（強風域の最大の半径）は、平均すると約440kmだよ。

**Q：台風で人間は吹き飛ばすことがあるのですか？**

A：風速25m/sの暴風は、自動車でいうと時速90キロくらいの速さがあるよ。2003年の台風第14号のときは、宮古島で最大瞬間風速74.1m/sの風が吹いて電柱が約800本倒れたよ。人が吹き飛ばされることもあるよ。

**Q：これまでで一番大きな台風はどれくらいですか？**

A：1997年の台風第13号（ウィニー）が一番大きな台風（最大直径は2400km、台風の眼の直径は370kmで過去最大）だよ。



防災教室の最後に、担当教諭から『台風を正しくおそれてください』という気象台からのメッセージは大切なことです。今日の防災教室をきっかけにして、さらに防災教育を充実させて、台風や地震津波について正しく学び、児童が自ら考えて正しい行動ができる子、自分の身を守る子になれるよう指導をしていきたい」とのお言葉をいただきました。また後日、沖縄タイムスのオピニオンのコーナーに「台風のこと、たくさん学んだ」と題して日比野貫太くんが投稿し、「台風の説明は教科書よりも詳しくて分かりやすかったです。台風について、

詳しくたくさん知れたのでうれしかったです」との感想が寄せられうれしく思いました。

私たちの周りでは、「日常生活」と「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策」の両立のため、さまざまな物事が新しい生活様式に変わりつつあり、学校教育現場もオンラインで対応する機会が増えてきています。今回の宮古島地方気象台として初めてのリモート防災教室は、リモートでも児童にしっかりと内容が伝わるのがわかり、子供たちの表情や反応も実感することができました。今後もオンラインでの出前講座のコンテンツを拡充させ、児童の興味をひくような工夫を施し、新しい生活様式での防災教育の普及・啓発を図っていきたいと思います。（宮古島地方気象台報告）

メールマガジンで取り上げてほしいテーマや、各学校で行った防災に関する取組などがありましたら、次の連絡先までご連絡をお願いします。

沖縄県教育庁保健体育課

TEL：098-866-2726

学校安全・給食班

Email：aa316008@pref.okinawa.lg.jp

沖縄気象台防災調査課 大城 隆

TEL：098-833-2186

Email：okichosa@met.kishou.go.jp

